

町を知り町を語り町の明日を創る町民参加の伝承活動

特定非営利活動法人富岡町3・11を語る会

富岡町心の復興事業計画書

取組の目的・概要、効果・特徴

東日本大震災と原子力災害から15年が経過した富岡町では、避難生活の長期化や帰還、移住などにより町民の状況が多様化している。本事業では、震災の体験や町の歴史、現在の課題などを町民自らが語り合う場を設け、世代や立場の違いを越えて思いや考えを共有し、町の未来を共に考えるつながりを育む。誰もが「語る人」として参加できる機会をつくり、語り合いを通じて「富岡町の町づくり・人づくり」を支える伝承活動を推進する。

- ①町のアーカイブで「あなたも語り人」アワー
- ②「皆語り人」とみおか塾
- ③ 伝承活動事業の情報発信（語り人通信の発行）

取組内容

【町のアーカイブで「あなたも語り人」アワー】の実施
○実施期間 5月～2月（月2回）
○場所：富岡町
毎回テーマを設定し、ゲスト（町民）が語り人となって語る。
・ゲストの選定：富岡町民、関係者（世代・地域を越えて選ぶ）
・テーマの設定：例（震災・原子力災害の話、町の現状と課題、町の歴史と伝統、町と学校 など）。



【「皆語り人」とみおか塾】の実施
○実施期間 5月～2月（2ヶ月に1回）
○場所：富岡町
○・伝承活動の意義、現状と課題など
・「町を知る」：歴史、伝統文化、震災、原子力災害、放射能について、町の現状と課題などを講義や資料で学ぶ。
・資料作成：「何を」「誰に」「どうして」「どうやって」伝えるかを考え、原稿や写真などの資料を整理・作成する。
・町を歩く：「海歩き」「山歩き」「歴史散歩」「文学散歩」などで探索する。



【伝承活動事業の情報発信】（語り人通信の発行）
○通信 発行回数 年4回
○町内外の町民に、「語る」ことへの関心と、「語る」ことによって生まれる町とのつながりを周知し、町民が主体的に伝承活動に参加するための情報発信を行う。
広報誌「語り人通信」の発行
SNSでの発信（ホームページ、インスタグラム、ユーチューブなど）



次年度以降の展開

○町のアーカイブで「あなたも語り人」アワー
本年度の取組を踏まえ、語り人アワーの定期開催を継続し、より多様な町民が参加できる機会の拡充を図る。また、語りの記録を蓄積し、震災や町の歴史を次世代へ伝える取組につなげていく。
○「皆語り人」とみおか塾
講座を継続し、語り人として活動する町民の育成と参加者の拡大を図る。また、修了者が語り人アワーなどの活動に参加し、実践につながる仕組みづくりを進めていく。
○伝承活動事業の情報発信
広報誌やSNSによる情報発信を継続し、語り人活動の周知と参加促進を図るとともに、町内外へ富岡町の経験や歴史を伝えていく。
○ふくしま語り部ネットワークの拠点として町民語り人の活動が広がる